

グループホームやよい  
小規模多機能型居宅介護やよい  
アシストリビングホームやよい  
運営推進会議議事録

日付：令和6年6月18日（火）

時間：14：00～15：00

場所：アシストリビングホームやよい

司 会： 石黒 耕次（グループホームやよい ホーム長）  
増山 文人（小規模多機能型居宅介護やよい 管理者）  
参加者： 荒町氏（釧路市東部北地域包括支援センター）  
木下氏（やよい町内会長）  
伊藤（小規模多機能型居宅介護やよいケアマネ）

## 1 運営推進会議とは

利用者や利用者の家族、市町村職員、包括支援センター、地域住民の代表者、小規模多機能型居宅介護、グループホームについて知見のある代表者に対し、提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、事業所による利用者の抱え込みを防止し、評価されることでサービスの質の確保を図ることを目的として設置する。

## 2 事業運営報告

### ■4月、5月の介護度別サービス利用状況

要介護	4月 グループホーム やよい	5月 グループホーム やよい	4月 小規模やよい	5月 小規模やよい
要支援1			0名	0名
要支援2			2名	2名
要介護1	0名	0名	2名	2名
要介護2	7名	8名	8名	8名
要介護3	5名	5名	8名	8名
要介護4	2名	2名	6名	6名
要介護5	2名	3名	2名	2名
計	16/18名	18/18名	28名	28名

利用状況・グループホームやよい（令和6年5月末現在）

- ・男性 9名 女性 9名 計18名
- ・車椅子 8名
- ・最高年齢 男性92歳 女性97歳 平均年齢 86.2歳
- ・平均介護度 3.0
- ・空き状況 0名 待機者 1名

グループホームやよい サービス内容・行事等

4月

28日 春のゲーム大会

5月

5日 花見

12日 おやつレク

※体操・レク・歩行訓練、立位訓練を毎日実施。

利用状況・小規模多機能型居宅介護やよい（令和6年5月末現在）

- ・男性 15名 女性 13名
- ・車椅子 7名（男性3名、女性4名）
- ・最高年齢 男性95歳 女性97歳
- ・平均年齢 全体の平均年齢85.4歳
- ・平均介護度 4月2.9 5月2.9
- ・空き状況 アシストリビング 0室  
小規模多機能型居宅介護 1名（宿泊定員満床にて通いのみ）
- ・長期利用者（30日継続） 6名（コロナ感染対策等により外泊見送り）
- ・施設入居待ち 1名
- ・小規模やよい 待機 1名

小規模多機能型居宅介護やよい サービス内容・行事等

4月

4日 どら焼き作り

18日 5月カレンダー作り

24日 玉入れゲーム

5月

1日 柏餅作り

8日～12日 お花見レク

22日 カーネーション飾り作り

※ 一般開放利用者数

(毎週 月曜日・水曜日)

4月 中止 5月 中止 今後は開催検討予定(時期不明)

### 3 ご家族・地域・施設側からの声

《グループホームやよい》

R6年4月より面会制限の一部廃止。マスク着用、手指消毒のみ。

《小規模多機能型居宅介護 やよい》

・面会について

感染対策に関しては、検温・消毒・体調に関する聞き取り等の実施は徹底致します。

マスク着用等感染対策をしっかりと各居室にて30分間。

### 4 4.5月の事故報告について

	グループホーム やよい 4月	グループホーム やよい 5月	小規模 やよい 4月	小規模 やよい 5月
アクシデント	0件	0件	1件	0件
インシデント	4件	5件	2件	3件
ヒヤリハット	1件	2件	0件	2件

グループホーム やよい

4月

インシデント 4件 転倒×2、切り傷、入れ歯洗浄剤の誤食未遂

ヒヤリハット 1件 転倒の恐れ

5月

インシデント 5件 転倒×3、ずり落ち、皮膚剥離

ヒヤリハット 1件 転倒の恐れ

小規模多機能型居宅介護やよい

4月

アクシデント 1件 転倒(顔面打撲にて病院受診)

インシデント 2件 尻もち2件

ヒヤリハット 0件

5月

アクシデント 0件

インシデント 4件 転倒2件 異食1件 薬の欠片が溶けて落ちている1件

ヒヤリハット 2件 薬セットミス1件、落薬1件

## 5 その他

《グループホームやよい》

職員の採用

なし

職員の異動

なし

職員の退職

2名

職員 17名 正社員 14名

パート職員 3名

休職 0名

介護福祉士 8名

介護初任者研修等 2名

認知症ケア専門士 2名

《小規模多機能型居宅介護やよい》

職員の採用

4月1日付介護職員採用（常勤）

4月15日付介護職員採用（パート）

4月23日付介護職員兼事務職員採用（常勤）

職員の異動

なし

職員の退職

なし（休職1名）

職員 22名

正社員 14名

パート職員 8名

休職 0名

介護福祉士 9名

介護初任者研修等 3名

技能実習生 1名

認知症ケア専門士 1名

認知症基礎研修 全職員終了

### 往診医

- ・吉川メディカルクリニック（月2回）
- ・あさの皮膚科クリニック（月1回）
- ・おかだ歯科

### 床屋

- ・カットハウス長尾
- ・D-ails（ディーエール）

### 質疑応答

次回開催予定日の確認 日時：令和6年8月20日（火） 14時～15時

場所：アシストリビングホームやよい

□質疑応答  
小規模やよい事例検討

4月25日発生の転倒事故について事例検討を行う。  
事故詳細については別紙参照

① 優先順位の設定

転倒・転落リスクが高い方から優先順位を設定しているが、転倒リスクが高い方が複数いる際の設定について

時間帯の把握を行い、更に時間帯での優先順位をつけてはどうか  
夜間帯に起きられる理由がトイレであるのであればポータブルトイレを設置し対応するのも一つの方法ではないか、また夜勤者一人で見守りを行っている人数が多いように感じた。

② 見守り機器

効率的な見守り方法の検討

眠りスキャンを使用し眠りの周期、覚醒状態等を把握できるのは効率的な見守りと言えるのではないか

③ 損害軽減策について

事故防止のためにやはり速やかにつけられる体制が望ましい、介護記録をタブレットで入力する、業務分担を明確にし早番・日勤・遅番での業務仕方を明確にすることで、速やかにつけられ損害も軽減にすることができるのではないか

④ 職員の負担軽減に関して

事故が起きてしまうと、事故に対応した職員一人のせいになってしまうことがある。どのようにして事故が起こったのかを把握することは大事であるが、防ぎようのない事故もある事を認識することも必要ではないか

家族との信頼関係の構築によって、事故が起きた際も理解を示してくださる家族様が増えてきている。

⑤ 総括

様々な取り組みが見られ、事業所として事故防止に真剣に取り組んでいる姿が見えた、眠りスキャンなどの最新の機器も使用されており、家族としても安心出来ると思う。

やはり、家族・本人との信頼関係が重要であるので、今後も取り組みを続けて行ってほしい。

次回開催予定日の確認 日時：令和6年8月20日（火） 14時～15時  
場所：アシストリビングホームやよい

# 事故報告事例検討課題

- アクシデント
- インシデント
- ヒヤリ・ハット
- 器物破損

報告日 令和6年4月25日

報告者 \_\_\_\_\_

<b>事故当事者名</b> A様 (97)	<b>事故名</b> 〔転倒〕	<b>発生場所</b> 〔1階廊下〕
<b>主病名</b> 〔胆石、甲状腺、高脂血症〕	<b>事故発生時関係職員</b>	
<b>発生日時</b> 令和6年4月25日(月) AM : PM 2 : 22	<b>ご家族への報告</b> 令和 6年 4月 25日(木) AM • PM 8 : 30 対応者 <b>説明に対するご家族の反応状況</b> 分かりました、ご迷惑おかけします	
<b>事故現場図</b>	<b>事故発生時の状況と対応</b> 2時15分2階アシストコール対応の為、夜勤者2階へ行き介助行う。22分に1階へ下りると洗面所前トイレ手前で転倒され、当直者が駆け付け対応している。顔面より出血有り、唇及び鼻に裂傷と腫れ見られる、頭部に打撲痕及び裂傷は見られず、トイレ横の壁に血液付着していたことから、ふらつき壁に顔面打撲し転倒したものと考えられる。横になったまま声掛け手足の動き確認、特に動きに支障はなく発語もしっかりされている、全身の状況確認し骨折などの疑いは薄い為、2名介助にて車イスへ、その後トイレ行きたいとの要望あり、介助にてトイレ誘導実施、立ち上がりなどはいつもと変わらない様子、口腔内も出血見られた為、口腔ケア実施。落ち着かれた状況でバイタル測定、血圧139/85P65、KT36.9度、SP02-98%にて経過される、その後臥床し休まれ、6時起床まで入眠される。起床時もバイタル特変なく、朝食も5/10摂取、起床時は転倒されたことは覚えておられなかった、顔を打撲している為家族了承得て釧路脳神経外科病院受診行う、CT検査結果、異常はないも今後慢性硬膜下血腫が起こる可能性あり、様子観察の指示受ける	
<b>事故原因・問題点の検証</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間帯トイレ誘導実施行い、センサー対応で訪室していたが、2階巡回の為センサーなり降りた段階では間に合わなかった。</li> <li>・0時にトイレ誘導実施しており、以前よりトイレ間隔が短くなってきている</li> </ul>		
<b>解決・改善方法及び課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・眠りスキャン使用し覚醒状態の把握、覚醒時には声掛けし事前のトイレ誘導実施行う。トイレ間の時間が空く場合は巡回の時間をずらしA様を優先対応とする。</li> <li>・足元センサーの他に眠りスキャンの離床センサーを起床に切り替える。</li> </ul>		
<b>フィードバック</b> 4月30日カンファレンスの実施		